

令和6年第4回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和6年4月18日（木曜日） 午後1時46分から3時58分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、報告第2号～4号、議案第13号

議題及び決定事項等

報告第2号 専決処理について

【原案どおり承認】

報告第3号 専決処理について

【原案どおり承認】

報告第4号 専決処理について

【原案どおり承認】

議案第13号 日高市就学支援委員会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 教育長報告の資料について、会議で口頭による報告があるが、項目だけでも記載してもらいたい。

(委員) 高萩北小学校のポンプ施設工事とはどういったものか。

(教育部長) 旭ヶ丘松の台の土地区画整理に伴って、小学校の敷地内にあるポンプ施設などを移設させる工事である。

(委員) 下水道に接続されるのか。

(教育部長) 下水道の整備も合わせて進めている。

(委員) 高萩北公民館の改修はどういった内容か。

(教育部長) 施設の老朽化が進行しているため、内外装等を全面的に改修するものである。また、武蔵台公民館についても、今年度改修工事設計、来年度改修工事の予定である。

(委員) 義務教育学校の教科書の学年表記は、小学校、中学校のままか。

(学校教育課長) そうである。

(委員) 児童生徒の学校区別の減少率はどうなっているのか調べておいてほしい。

(委員) 海外留学擬似体験事業について、去年は中学校2年生だけが対象であったが、今年度は中学校1、3年生も参加ができるよう裾野を広げたと思うが、複数回参加ができるようにはならないのか。

(学校教育課副参事) 上限を500人で設定している。今年度の中学校2年生及び義務教育学校8年生の合計が465人なので、1年生と3年生から希望者を募るが、それほど多くの人数は参加できない状況である。

(委員) 費用が掛かっていることは承知している。日数が変わらなければ、参加人数を増やすこともできるのではないか。断ることはしないで、裾野を広げてあげてほしい。

(学校教育課長) グループの人数を数名増やすなどで柔軟に対応ができればと思う。

(委員) 今年度のグループ編成はどうするのか。

(学校教育課長) 学校の意見を聞きながら編成していきたい。また、中学校3年生がスタッフ側に回れないかも考えている。

(委員) 様々な体験コーナーがあるが、インターネットを使って現地の人と会話をするコーナーがよいと思った。

(委員) ALTの出身地によって英語の発音も違うと思う。英語の教員がワンポイントアドバイスのようなことを行うのもよいと思う。

(学校教育課副参事) 武蔵台小中学校では、英語の紹介動画を作成し、現地の子どもがそれを見て動画で答えてくれるという取組を行っている。

(委員) リアルタイムよりも繰り返し視聴できる点がよいと思う。

(学校教育課副参事) 相手に伝えるために、子どもたちが自ら考え、工夫して動画作りに取り組んでいる。

(委員) 定例健幸ウオーキングの女影路とはどこか。調べておいてほしい。

(委員) 教育長協議会で教科書採択について県から報告があったとあるがどのような内容か。

- (教育長) 教科書採択にあたっては、透明性と公平性を持って行うことという内容である。以前は広域で採択をしていたが、単独で採択を行うところも出てきている。
- (委員) 学校における働き方改革の推進について、ただ早く帰らせるように促すのは改革ではない。
- (教育長) 無駄を省いたり内容を見直すことが大切であり、子どもたちの活動が制約されてはならない。根本的には人を増やさないと解決は難しい。
- (教育部参事) 教員の意識は変化してきている。
- (委員) 子ども像の実現「気が優しく」は教員が優しくなければ、優しい子にはなれないと思う。
- (委員) 学校自己評価について、学力といじめの評価で教員と保護者とで乖離があることについて分析を徹底してもらいたい。
- (委員) 武蔵台小中学校の英語教員が令和6年度長期研修派遣に選ばれたとあるが、どういった基準で選抜されたのか。
- (学校教育課長) 優れた教員が選ばれる。授業が素晴らしく、テンポがよく子どもたちの会話の量も違う。
- (委員) 不登校対策について、コロナ禍後に急増しているが、市としても対応を考えていかなければならないと思う。
- (教育長) 岡山県が先進的に取り組んでおり、話を聞いたが、無理に学校に来させるのではなく、まずは、学校を魅力的な場所にしないと不登校は減らないと話していた。
- (学校教育課長) 国が進めている心の健康観察という取組の導入を検討している。学校は決まった時間割の中で動いており、そこに馴染めないと不登校になってしまうケースもある。子どもに応じた環境が学校にあり、学びの自由度が増していけば、学校の魅力も高まるのではないかと思っている。
- (委員) 1年間不登校であったが、次の年から行けるようになったり、高校になったら行けるようになったりと、いろいろなケースがある。
- (委員) 大人が思う魅力的と子どもが思うものとは違うと思う。学校に来させることありきではなく、最低限の学びの保障を行わなければならない。行かない意思があるのだから、方向性を変えるように導ければ成長すると思う。
- (委員) 小学校3年生から不登校の子がいたが、コンピューターエンジニアの資格を取得して在宅で仕事をしている人もいる。今はいろいろな道が開けている。大切なのは信頼関係を築くことで、一念発起するきっかけがあればよいと思う。
- (教育長) 教員には諦めないでほしいと話している。
- (委員) 教職員の様子や欠員の様子はいかがか。
- (学校教育課長) 順調にスタートできている。欠員はないが、加配は足りていない状況である。
- (委員) 院内学級の教員配置はどうなっているか。
- (学校教育課長) 小学校が教員1名と加配が1名、中学校が加配1名である。
- (委員) 高麗郷民俗資料館について、場所が奥まっけていて建物も古いが、どのくらいの来館者があるのか。
- (生涯学習課副参事) 昨年度は11,567人であった。昭和37年に建築された元高麗公

民館である。古い建物であるが、巾着田というロケーションもあり来館者はある。手を変え、品を変え企画展をさせていただいている。

(委員) よい取組なので積極的にPRしていただきたい。

(委員) コロナ禍が明け今年から在校生も卒業式に参加していた。楽しくて魅力的は学校づくりをお願いしたい。

(委員) いじめや不登校問題について、校長と約束をしたことが守られなかったりすると、更なる不信感につながる。しっかりと説明をし、できない約束はしない方がよい。

(委員) 卒業記念品について、小学校の記念品が英語辞書であるが、タブレットも支給され、あまり使用しないと思う。例えば図書カードやフォトフレームなど、何か替わる物があればと思う。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第2号、3号 【質疑なし】

報告第4号、議案第13号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○5月定例会：5月30日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○6月定例会：6月27日（木曜日）午後1時40分から 委員了承